

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年1月22日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年1月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【作業員証およびガラスバッジの不携帯について】 免震重要棟から入退域管理棟へバス移動した社員が、作業員証とガラスバッジを免震重要棟で落としたことに気づかず、拾得の連絡を受けた。 作業員証とガラスバッジの不携帯時間は約20分間。	GⅢ
2	【サブドレンサンプルタンク付属設備の新設配管耐圧試験時のろ過水漏えいについて】 ろ過水による耐圧試験中、既設側加圧部の配管フランジ部より漏えい発生。 漏えいフランジ部の増し締め、養生、漏えい水処理を実施。	GⅢ